

## 2、3月どりレタス不結球の発生要因に関する研究

西谷国宏・山内正幸

2,3月どりレタスにもっとも発生が多い不結球株の発生原因とその対策について究明を行った。

1. 不結球発生には品種間差異が認められ,早生型の品種は発生が少なく,概して晩生型品種に多い傾向がみられた。
2. 不良苗を定植すると不結球が増加する。したがって,この作型がもっとも健苗を育成する必要がある。
3. 若苗を定植すると不結球株の発生が減少するが,老化苗を定植するといちじるしく増加する。
4. 不結球の発生を発育過程から分析すると,年内に外葉発育を促進させ,できるだけ外葉を大きくしておく和不結球発生は減少する。一方年内に外葉発育が不良であると不結球株は増加することが判明した。
5. 年内の外葉発育を促進することによって不結球の発生をいちじるしく減少させることが可能であるということが判明したが,そのためには健苗の育成と若苗の定植,そしてトンネル被覆が遅れないような栽培管理が必要と考える。